

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公表番号】特表2006-528911(P2006-528911A)

【公表日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-051

【出願番号】特願2006-533201(P2006-533201)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

A 6 1 B 17/11 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/04

A 6 1 B 17/11

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年4月9日(2010.4.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が第 1 端部、この第 1 端部と反対側の自由端部、および組織に係合するための両端部間の係合表面を有する一对の固着要素を備えており、前記第 1 端部は、固着要素が、係合表面が互いに向い合う閉鎖位置と、係合表面が互いからそむけて向いている逆転位置との間で移動可能であるように、互いに移動可能に連結されており、

固着要素に連結されていて、閉鎖位置と逆転位置との間で固着要素を移動させるようになっている作動機構と、

一对の把持要素と、を更に備えており、各把持要素は、固着要素のうちの一方に対して移動可能であり、組織を捕獲するように係合表面のうちの一方に対向して配置されており

、
各把持要素は、展開形状において固着要素の凹所内に少なくとも部分的に配置され、

把持要素は、それらの各々が対向している係合表面から離されている未展開形状から、把持要素が対向している係合表面により接近した展開形状まで移動可能である、組織に係合するための固着装置。

【請求項 2】

固着要素は閉鎖位置と逆転位置との間の開放位置まで更に移動可能である、請求項 1 に記載の固着装置。

【請求項 3】

開放位置では、一方の固着要素の係合表面は他方の固着要素の係合表面と 5° より大きく、90° より小さい角度を形成する、請求項 2 に記載の固着装置。

【請求項 4】

把持要素はこれらにより係合された組織に対するグリップを高めるように構成された摩擦特徴を有している、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 5】

把持要素は固着要素と関係なく移動可能である、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 6】

把持要素は係合表面に向けて付勢されている、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 7】

各固着要素は少なくとも部分的に凹形である、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 8】

把持要素は未展開形状において互いにほぼ平行である、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 9】

作動機構は第 1 および第 2 固着要素に連結された一对のリンク部材を備えており、それにより、リンク部材の移動によって第 1 および第 2 固着要素を移動させる、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 10】

作動機構は更に、連結部材と、この連結部材に摺動可能に連結されたスタッドとを備えており、第 1 端部は連結部材およびスタッドの一方に連結されており、リンク部材は連結部材およびスタッドの他方に連結されている、請求項 9 に記載の固着装置。

【請求項 11】

リンク部材はヒンジにより連結部材およびスタッドの一方に連結されており、リンク部材はヒンジにより固着要素に連結されている、請求項 10 に記載の固着装置。

【請求項 12】

固着要素を所望の位置に係止するようになっている係止機構を更に備えている、請求項 1 ないし 11 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 13】

作動機構は固着要素に連結された移動可能なスタッドを備えており、係止機構はスタッドの移動を防ぐためにスタッドに摩擦係合するように構成されている、請求項 12 に記載の固着装置。

【請求項 14】

係止機構はスタッドに摩擦係合するための楔留め要素を備えており、一对の側壁部を有する連結部材を更に備えており、側壁部の少なくとも一方は他方の側壁部に向かって傾斜しており、スタッドは側壁部間で摺動可能であり、楔留め要素はスタッドと少なくとも一方の側壁部との間に移動可能に配置されている、請求項 13 に記載の固着装置。

【請求項 15】

楔留め要素はスタッドとの係合において少なくとも一方の側壁部に沿って転動するように構成された転動要素よりなり、転動要素は一对の概ね円筒形のキャップと、それらの間のシャフトとを有するバーベルよりなり、シャフトはキャップ間でスタッドに係合するように構成されている、請求項 14 に記載の固着装置。

【請求項 16】

所望の位置から移動可能であるように固着要素を離脱するようになっている離脱機構を更に備えており、所望の位置から移動可能であるように固着要素を離脱するようになっている離脱機構を更に備えており、この離脱機構は楔留め要素に連結されたハーネスを備えており、このハーネスはスタッドの摩擦係合を減じるために楔留め要素を移動させるようになっている、請求項 12 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 17】

固着装置を送出し装置に取外し可能に連結するための連結部材を更に備えている、請求項 1 乃至 16 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 18】

連結部材は、固着要素および作動機構のうちの一方に連結されていて、軸方向チャンネルを有する外側部材と、軸方向チャンネルを通して摺動可能に延びていて、固着要素および作動機構のうちの他方に連結されている内側部材とよりなり、外側部材は送出し装置と係合するための合せ表面を有しており、この合せ表面は S 字形の形状を有している、請求

項 17 に記載の固着装置。

【請求項 19】

組織の成長を促進するようになっている覆い体を固着要素上に更に備えている、請求項 1 乃至 18 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 20】

治療剤を送出するようになっている覆い体を固着要素上に更に備えている、請求項 1 乃至 19 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 21】

固着要素は第 1 端部と自由端部との間に長さ方向の縁部を有しており、これらの長さ方向の縁部は係合表面から離れる方向に長さ方向軸線のまわりに湾曲されている、請求項 1 乃至 20 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 22】

固着要素の自由端部は係合表面と概ね平行な横方向軸線のまわりに係合表面から離れる方向に湾曲しており、固着要素の自由端部は横方向軸線と平行でない第 2 軸線のまわりに湾曲されている、請求項 1 乃至 21 のいずれか 1 項に記載の固着装置。

【請求項 23】

近位端部および遠位端部を有しており、患者の遠い血管系から組織に近い患者の身体内の位置まで通るように構成されたカテーテルと、

請求項 1 乃至 22 のいずれか 1 項に記載の固定装置と、を有するシステム。

【請求項 24】

開放位置では、一方の固着要素の係合表面は他方の固着要素の係合表面と 90°より大きく、180°より小さい角度を形成する、請求項 2 に記載の固着装置。